



p1 冬期懇談会開催

p2 馬鈴薯AI選別システム導入の道のり



JA今金町公式YouTube チャンネル登録・高評価お願い致します！

令和8年「冬期懇談会」開催



ＪＡ今金町は、１月２２日から２日間の日程で「冬期懇談会」を開催しました。ＪＡ役員及び職員が各会場を回り、ＪＡ事業概況や方針について正組合員の皆様に説明し、意見交換を行いました。この冬期懇談会は、ＪＡ事業運営の理解を深める重要な懇談の場であり、年に１回開催しています。

ＪＡ事業概況の説明では、各部門の令和７年度事業の１２月末実績及び昨年同期との実績対比が報告されました。農畜産物取扱金額については、お米が作付面積増加と価格高騰を受けて計画対比１００％増加（４０．７億円）と大幅に伸びたほか、食用馬鈴薯が全道的な不作を受けて価格が上昇し１４％増加（７．６億円）、貯金高は前年よりも９％増加（１９６．２億円）となりました。〔※（ ）の数字は令和７年１２月末実績を示しています。〕

報告事項では、主に令和８年度からスタートする第１４次中期経営計画（案）の重点事項として、馬鈴薯ＡＩ選果システムが令和８年産の稼働を控え、効率的な運用となるよう協議を進めていくことや、役員体制・業務体制など８項目について説明されました。

参加された正組合員からは、各事業に対し質問や要望も含めて意見が出され、特に重点事項にある「馬鈴薯ＡＩ選果システム導入による効率的な運用」や「女性役員登用」について多くの意見が出されました。

ＪＡ運営は組合員皆様の参画なくして成し得られません。そのためには対話が重要と考えますので、今後とも積極的な参加と建設的な提言をお願いします。

冬期懇談会にご参加頂いた皆様ありがとうございました。

<開催会場>

１８営農地区を対象に１２会場で開催
ＪＡ今金町大会議室、各地区会館等

<出席状況>

正組合員数	２３４名	（２０２戸）
出席者	１０６名	（９９戸）
出席率	４５．３％	（４９．０％）

<報告事項>

- 第１４次中期経営計画について
- 食用馬鈴薯共同施設内選別機の更新及び
倉庫の低温化について
- カスタマーハラスメントの防止について
- 広域連事業概況について
- 国営緊急農地再編整備事業の状況について
- 第５８回通常総会開催について

<第１４次中期経営計画（案）重点事項>

- 馬鈴薯ＡＩ選果システム導入による効率的な運用
- 酪農畜産の振興
- 事業収支の確保
- 経済部門の収支
- 経営管理、組織機構
- 女性役員登用
- 業務体制のあり方と職員体制
- 職員の人材確保と定着化

「馬鈴薯AⅠ選別システム導入の道のり」

●令和7年産の選別が終了

1月29日、令和7年産の食用馬鈴薯の共同選別作業が終了しました。同年産の共同選別は9月22日に開始し、稼働期間は約4カ月となりました。

令和7年産の食用馬鈴薯は、天候不順で播種が遅れ高温や少雨により小玉傾向となり、取扱数量は前年比20%減少の69百トン。品質面では数年来課題となっている発芽が極端に少なく、全道的に不作であったことも影響し、高価格での販売となっています。

●新機械導入を決断

現行の馬鈴薯選別機械は平成元年に導入されて以降、部分的な更新や増設を繰り返しながら、高品質な選別作業を維持してきました。その選別工程では、人の目による3段階のチェックを取り入れ、高品位な「今金男しゃく」の出荷を支えました。しかし、導入から37年目を迎え、機械の老朽化が進行。維持管理や修繕の負担が増していました。

加えて、近年は十分な人員を確保することが難しくなり、人手不足が深刻化。選別作業の多くを人の目に頼る現行方式では、人員確保や人件費の増加も課題でした。

令和5年には関係機関と連絡協議会を立ち上げ、「今金男しゃく」

を取り巻く諸課題解決に向けて方策を検討。検討を重ねた上で、馬鈴薯選別機械を全面的に入れ替える方向で協議を進め、臨時総会を経て正式に決定しました。

●事業の概要

旧馬鈴薯選別機の解体撤去工事とAⅠ選別システムの導入工事を行い、総事業費は約7億7千万円（税抜）となります。国の補助事業「新基本計画実装・農業構造転換支援事業」を活用する計画となっています。

新たに導入されるAⅠ選別機械は、画像認識やデータ解析技術を活用し、イモの形状や大きさ、傷などを高精度に自動で判別します。これにより、選別効率の大幅な向上が見込まれ、人件費や運用経費の抑制も期待されます。

●今後に向けて

2月に入るといよいよ解体撤去工事が始まります。

J A今金町では今後も「今金男しゃく」ブランドの品質と生産効率を両立させるため、生産農家との連携を図っていきます。また、最新技術の導入による効果が発揮されるように、出荷や選別の体制強化を進めていく方針です。

新機械の導入まで毎月お伝えします



形状選別機を経て規格ごとのレーンに流れるイモ

熟練のパート従業員が選別する様子（磨き作業後の工程）

熟練のパート従業員が選別する様子（箱詰め前の工程）

フタを閉じる前に今金男しゃくシールを入れる様子

今金米・今金男しゃくを奉納

J A 今金町は十日えびす
に合わせ「今金男しゃく」

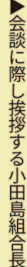


一番福：豊川哲平さん(中)、三番福：澤井歩さん(右)、三番福：赤松大樹さん(左)

この取り組みは、当JAの米穀主要出荷先である阪神米穀株式会社より、全国的な知名度を誇る十日えびすへの奉納を提案いただいたことがきっかけで、平成26年から始まりました。以降、コロナ禍による中止となった2回を除き、今回で11回目の奉納となりました。

奉納に合わせ、当JA役員・職員が同神社を訪れ、五穀豊穡を祈願して参拝しました。過去には青年部員や若手職員が福男選びに参加し参道を駆け抜けたこともあります。

当JAでは、この取り組みを通じて全国各地から集まる参拝者やメディア関係者に今金産農産物の魅力を発信し、産地の知名度向上を図っています。



同社は今金町産の大根・人参・ブロッコリーの広域連品目のほか、ミニトマトなどを取り扱っています。会談では日頃の感謝を伝えるとともに、今後の連携強化について意見交換を行いました。

JA共済 交通安全ポスターコンクール

JA 共済では、組合員と地域住民の皆さまの生命・財産を危険から守るための保障活動・地域貢献活動に積極的に取り組んでいます。その一環として共済事業の相互扶助・思いやりの精神を、次代になう小・中学生にも伝えていくとともに、児童・生徒の図画工作・美術教育の高揚をはかり、交通安全思想を幅広く社会に訴えることを目的として「交通安全ポスターコンクール」を開催しています。

令和7年度JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクールが行われ、今金町では3名が見事に入賞しました。今金中学校3年生の石川七美さんが銅賞、今金中学校2年生の村井希衣さんが佳作、今金小学校5年生の白岩大河さんが佳作をそれぞれ受賞。受賞された皆さんには、JA 今金町・荒川信用専任担当理事より表彰状及び副賞が贈呈されました。

今回のコンクールでは、全道96校から約1,500点の応募があり、この多くの作品の中から選ばれたのは素晴らしい事です。

ポスター制作と本コンクールへの応募を通じて交通安全を考えるきっかけになるほか、作品を通じて社会全体に交通安全意識の向上が期待されます。



表彰された今金中学校の生徒2名
(左:石川七美さん、右:村井希衣さん)



表彰された今金小学校の児童1名
(中:白岩大河さん)

佳作
今金小学校5年生 白岩大河さん



佳作
今金中学校2年生 村井希衣さん



銅賞
今金中学校3年生 石川七美さん



フォローしてね!



最新情報を Xで配信中

- ・最新情報
- ・地域の話
- ・おトクな情報

@ja_imakane



X (旧 Twitter)

理事会報告

第15回理事会(令和8年1月19日)

◆報告事項

1. 第一委員会報告について
2. 決算棚卸監査の実施について
3. 檜山北部広域連の概要について
4. 令和7年クミカンの資金借入状況について
5. 大口信用供与(5千万超) 理事会決定に係る経営状況の定期報告について

◆議決事項

- 議案第1号 令和7年度事業概況について
- 議案第2号 令和8年度事業基本方針について
- 議案第3号 理事者とのクミカン取引額の承認について
- ◆協議事項
- 1. 冬期農協懇談会報告事項について

檜山北高校 出前授業 結果報告

令和 7 年は檜山振興局主催により檜山北高等学校出前授業が 3 回にわたって開催されました。出前授業は地域への定着を促すことなどを目的とした檜山地域人材確保総合対策事業の一環です。対象となったのは同校で選択科目「農業と環境」を学ぶ 22 名の生徒です。

JA 今金町青年部が「農業や地域の魅力について子供たちに伝えたい」と同校での授業実施を模索していたことをきっかけに、檜山振興局が実施していた出前授業と趣旨が合致して企画されました。また、農業そのものと地元産品に理解を深め、魅力に気づいてもらおうと調理実習や施設見学がそれぞれ実施されました。

受講した生徒たちにアンケートを実施しましたので、抜粋してお伝えします。
(※それぞれの授業の様子は本広報誌ですでお伝えしましたので割愛します)



①10月14日青年部による講演



②11月5日JAによる施設見学
(玄米センター、馬鈴薯選別施設)



③12月10日女性部による講演及び調理実習

出前授業を受講した生徒へのアンケート結果 (抜粋)

<3 回の出前授業を総合して>

◎今後も出前授業を続けたほうが良いと思うか
→思う 17 名、思わない 0 名、わからない 0 名

◎出前授業で他に学んでみたいことは

- ・新しい今金男しゃくの出荷施設を見てみたい。
- ・もっと料理の授業がしたい。
- ・レシピを考えて作ってみたい。

◎出前授業を通しての感想

- ・実際に調理して今金男しゃくの良さを感じることが出来たし、詳しくなれました。
- ・自分のためになっていて、面白かった。
- ・知らないことばかりで全てが初めての事だったので楽しかったです！
- ・自分たちの生活を支えている農業のことについて知れた。貴重な体験になりました。
- ・今金に住んでいるのに、いものレシピが自分の知らないものばかりで、今回の授業はとても楽しかったし、自分に有意義な時間になった。
- ・いもや米の施設を見て、今金は凄いなと思ったし、農業がなくなったらだめだと思った。改めて、食材に感謝したい。

<青年部による講演の感想>

- ・とにかく面白く、自分のためになった。これからの人生に活かしていきたい。
- ・難しい話だと思っていたけど、全然違って、農業だけでなく社会に出てからどの職業でもタメになる話で、受けてみて楽しかったです。
- ・米の育て方が全部ドローンなどでやっていて、昔と比べると楽になった方ではあると思うけど、朝は大変そうで、大変というイメージはまだあります…大変だけじゃなくて、楽しさもあるんだと感じた。
- ・農業の話も勉強になったけど、個人的には後半のお金の話や投資の話が面白くて、もっと聞きたいと思った。

- ・写真で田植えの様子を見て、自分のイメージしていた田植えと違ったのでびっくりしたし、発展しているんだなと思いました。

<JA による施設見学の感想>

- ・普段見ることの出来ない施設に入ってみて、出荷されるまでの、裏ではこういう作業をしているんだな。とか、技術のすごさに驚きました
- ・初めてお米の倉庫の中に入ったとき、とても寒くて、なんで寒いんだろうと思っていたら、温度が高いとお米が弱ってしまうため、常に一定の温度を保たなければいけないことを知りました。いもの選別場では、どのように選別をしているのか知らなかったもので、中入ったとき、衝撃を受けました。パートさん達は大変な思いをしながら作業をしていることを改めて知った。お米は沢山たべていけないといけなと思いました。
- ・今金町で育てたものと高い品質で消費者のもとへ届けるための機械や仕組みを見学して、すごいと思いました。
- ・米が保管されている所のスケール感というか、大きさを知れて面白かった。
- ・なぜ今は米の値段が高いのか良く分かりました。
- ・いもの選別がイメージ通りの THE・工場場で感じて面白かった。

<女性部による講演及び調理実習の感想>

- ・楽しくいも料理を作れて楽しかったです。優しく教えてくれたので上手に作れました。また来てほしいです。
- ・いももちを作ったのが初めてだったので、作れて良かった。講師の方が優しく教えてくださったので、上手に作ることができました。
- ・今回作ったものを家でも作ろうと思った。
- ・いももちは、いもを煮た状態からつぶす作業が大変だった。
- ・JA の女性部の方と調理実習が出来て楽しかった。じゃがいもの新しいレシピを知れて良かった。
- ・実際に調理して今金男しゃくの良さを感じることが出来たし、詳しくなれました。

「共済課」及び「貯金融資課」の直通電話番号を開設しました

業務の効率化やお客様対応の向上を目的として、

令和7年12月1日より「共済課」及び「貯金融資課」の直通電話番号を開設しました。

共 済 課

0137-83-8530

貯金融資課

0137-83-8110

※市内局番は82ではなく83なのでご注意ください

代表電話番号0137-82-0211は変わらず引き続きご利用いただけます。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

〜〜組合員資格確認についてのお願い〜〜

組合員加入申込時の提出書類記載事項に変更があった場合や、当JA定款第12条に定める組合員資格要件に変更がある場合は、直ちにその旨を書面でJAにお届出いただく（定款第14条）こととなっております。

つきましては、以下の資格要件をご確認を頂き、変更があった場合は、管理課までお申し出いただきますようお願い申し上げます。

正組合員

- 50 アール以上の土地を耕作する農民で、その耕作する土地又は住所がこの組合の地区内にあり、かつ農業を営むことが生活の主要なる部分を占めているもの
- 1年のうち90日以上農業に従事する農民で、その住所がこの組合の地区内にあるもの
- 農業を営む法人（その常時使用とする従業員の数が300人を超え、かつ、その資本の額又は出資の総額が3億円を超える法人を除く。）であって、その事務所又はその経営に係る土地がこの組合の地区内にあるもの
- 当JAの地区 北海道瀬棚郡今金町

准組合員

- 当JAの地区内に住所を有する個人で、この組合の事業を利用することが適当と認められるもの
- 当JAから事業に係る物資の供給又は役務の提供を継続して受けているこの組合の地区内に勤務地を有する個人であって、引き続きこの組合の事業を利用することが適当であると認められるもの
- 当JAから事業に係る物資の供給又は役務の提供を継続して受けているこの組合の地区外に住所を有する個人であって、引き続きこの組合の事業を利用することが適当であると認められるもの地区内にあるもの

また、組合員の加入者情報（氏名・住所・電話番号）に変更があった場合も、管理課までお申し出いただきますようお願い申し上げます。

JA今金町 管理部 管理課

TEL: 0137-82-0211

労災保険に加入しましょう!

労働者災害補償保険（労災保険）は、農業者の方も一定の要件のもとに特別加入することができます。**療養・休業給付など手厚い補償があります。**

加入者の要件

自営農業者の方で、経営耕地面積が 2ha 以上、または年間の農畜産物総販売額が 300 万円以上の規模であること等。（特定農作業従事者の場合）

補償の対象となる作業

- ①トラクターなど動力により駆動する機械を使用する作業等
- ②高さが 2 メートル以上の高所での作業等
- ③サイロなど、酸素欠乏危険場所での作業等
- ④農薬散布作業等
- ⑤牛・馬・豚に接触する、または接触の恐れのある作業

※上記5つの作業に「直接付帯する行為」も対象となります。

例えば「圃場間の移動」「機械や作物等の積おろし作業」等が該当します。

保険料と給付基礎日額

保険料は年一回の掛け捨て制で、その期間は 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの 1 年間です。加入される方は、給付基礎日額を最高で 25,000 円まで選択することができます。（給付基礎日額の金額に応じてご自身が支払う保険料が算定されます。）

保険料は、給付基礎日額 1,000 円あたり 3,285 円の割合での計算となります。
（例：給付基礎日額 5,000 円の場合 ⇨ 保険料は 16,425 円の支払いとなります。）

労災保険のメリット

万が一の農作業事故に備えた様々な補償が受けられます。

例えば、農作業事故に遭い、1 ヶ月休業しなければならなくなった場合、

- ◆療養補償により必要な治療が無料で受けられます。
- ◆給付基礎日額が 5 千円の場合、休業補償等で 1 ヶ月(27 日分)につき 108,000 円が給付されます。

加入申込み・お問い合わせは

J A 今金町管理課まで

(TEL82-0211 担当：山口)

申込期日：令和8年3月13日

補償の内容

療養補償給付 療養給付

●農作業事故によるケガや病気を病院等で治療する場合
必要な治療が無料で受けられます。

休業補償給付 休業給付

●農作業事故によるケガや病気の療養のため労働することができない日が 4 日以上となった場合
休業 4 日目以降、休業 1 日につき給付基礎日額（日給相当額のイメージ）の 60% の休業補償と、20% の特別支給金の合計 80% 相当額が支給されます。

障害補償給付 障害給付

●農作業事故によるケガが治った後に障害等級第 1 級～第 7 級又は、第 8 級～第 14 級までに該当する障害が残った場合
障害の程度に応じた年金または一時金が支給されます。

遺族補償給付 遺族給付

●農作業事故により死亡した場合
遺族人数に応じた遺族年金または遺族一時金が支給されます。

葬 祭 料 葬 祭 給 付

●農作業事故により死亡した方の葬儀を行う場合
給付基礎日額に応じた額が支給されます。

傷病補償年金 傷 病 年 金

●農作業事故によるケガや病気が療養開始後 1 年半を経過した日に、ケガや病気が治っておらず、障害の程度が傷病等級に該当する場合
障害の程度に応じた額が支給されます。

穏やかな年越しを目指して 歳末特別防犯街頭啓発実施

12月17日の夕方、今金町安全で住みよい町づくり推進協議会主催による「歳末特別防犯街頭啓発」が実施されました。自治会をはじめとする各関係団体が参加し、JA今金町からも2名が参加しました。

出発式は今金消防署で行われ、同協議会の本田会長、せたな警察署の宮下署長、中島町長から防犯強化に向けた挨拶がありました。

街頭啓発では、町内のスーパーマーケットや商店を訪問し、声かけ活動を行いました。Aコープいまがね店の出入口においても、来店者に対して啓発グッズの配布と声かけが行われました。

地域住民の連帯により、犯罪抑止につながることを期待されます。



事業実施にあたり中島町長が挨拶する様子

初売りでにぎわう Aコープいまがね店

1月5日、Aコープいまがね店では初売りが行われ、シャッターが開くと同時に多くのお客様が来店いただきました。店内では、同店オリジナルの福袋が大変好評で、販売開始直後に売り切れる商品が続出しました。福袋には、お菓子や食品の詰め合わせをはじめ、ガソリンスタンドの商品詰め合わせなど、JAならではの内容が用意され、来店者の注目を集めていました。

Aコープいまがね店では、本年も引き続き、組合員や地域の皆さまに親しまれ、安心して利用していただける店舗づくりに努めて参ります。今後とも、Aコープいまがね店をご愛顧くださいますようお願いいたします。



お客様で賑わう開店直後の店内の様子

水稻直播WEB研修を開催 水稻直播の理解を深める

1月21日、今金町水稻直播研究会はWEB研修会を開催し、会員らが参加しました。この研修会はJA全農の水稻直播栽培研究会が主催し、WEB配信により実施されたものです。

講演では「水稻直播栽培の現状と課題」や「水稻経営全体から見た直播栽培の位置付け」等をテーマとした他、関連資材や支援政策の紹介など、幅広い内容が解説されました。

水稻直播栽培は省力化やコスト抑制に加え、輪作体系の一環としても注目されています。今金町内でも栽培面積は年々増加しており、今後の安定的な農業経営に向けた有効な選択肢として期待が高まっています。



テレビ画面でWEB講習を受ける様子

農作業の危険について学ぶ 農作業安全研修を開催

1月21日、JA今金町は農作業安全研修会を開催しました。講師にホクレン函館支所営農支援室の菅野貴夫氏を迎え、組合員およびJA職員あわせて16名が参加しました。

業界別の死亡事故発生率では、農業は建設業を大きく上回り、令和4年には10万人当たり約11名、計238名が亡くなっています。これは交通事故の約5倍に相当し、農作業に潜む危険を身近な問題として捉える必要があります。日頃の作業で「ヒヤリ」とした事例を家族で共有し、改善につなげることが安全確保の第一歩となります。今後ともJAとして、組合員の皆様の農作業安全の確保に向けた取り組みを継続してまいります。



講師の話を真剣に聞く受講者たちの様子

お酒との付き合い方を見直してみませんか？

～うつ病・アルコール依存症を予防するために～

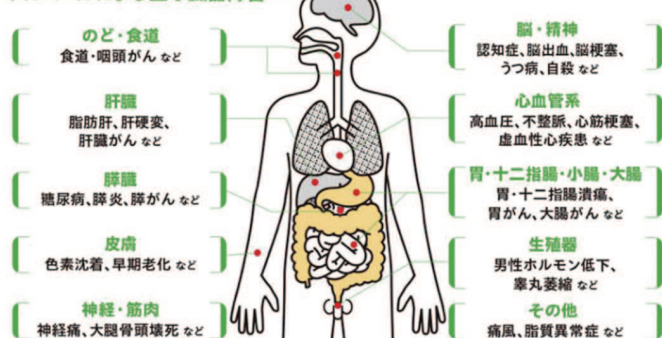


お酒（飲酒）は適量を楽しく飲めば、気分転換や人間関係をスムーズにする効果などがありますが、多量飲酒はあらゆる病気の原因となります。

1日あたりの平均“純アルコール摂取量が男性の場合40g（2合）、女性の場合20g（1合）”以上になると生活習慣病の他、脳や精神面への悪影響によりうつ病やアルコール依存症の原因になります。

1. 多量飲酒はあらゆる病気の原因に！

アルコールによる主な臓器障害^{3,4,5)}



お酒を飲まない人と比較した死亡リスク

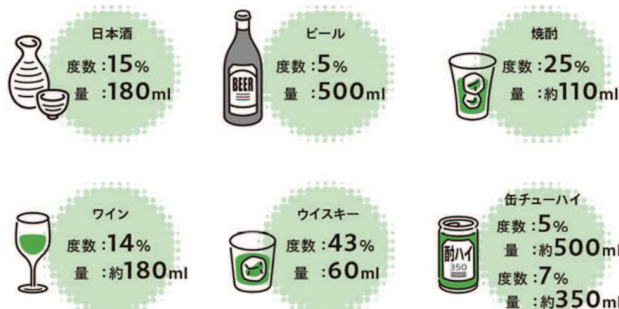
飲酒量が増えると死亡リスクが高まります。

※死亡リスクが1を超えると、お酒を飲まない人と比べて、死に至る危険性が高くなります。

1日の飲酒量と死亡リスク

46～68g	69～91g
1.05 [※] 倍	1.58 [※] 倍

2. 純アルコール 20g(1合)とは？



飲酒は疾患によっても、臓器によっても影響が異なり、個人差があります。飲酒量（純アルコール量）が少ないほど、飲酒によるリスクが少なくなるという報告もあります[※]。詳しくは、「健康に配慮した飲酒に関するガイドライン」をご参照下さい。



3. お酒との付き合い方を見直してみましょう

重要!!

- **自らの飲酒状況などを把握する**
- あらかじめ量を決めて飲酒する
- 飲酒前、飲酒中に食事をする
- 飲酒の合間に水を飲む
- 1週間のうち、飲まない日を設ける

4. 以下のような行動は避けましょう

- 一時多量飲酒（急いで飲まないようにしましょう）
- 他人への飲酒の強要
- 不安や不眠を解消するための飲酒
- 病気など療養中の飲酒や服薬後の飲酒
- 飲酒中、飲酒後の運動や入浴

*3)用：厚生労働省ホームページ、「健康に配慮した飲酒に関するガイドライン」

5. お酒とうつ病の関係

うつ病になると、多くの方が気持ちの落ち込みや不安、眠りにくさを感じることがあります。このような症状を解消するために、飲酒に頼る人も少なくありません。多量飲酒は、脳の神経伝達物質のバランスを崩し、睡眠の質の低下や脳疲労の蓄積等により、うつ病発症の原因となります。

また、うつ病治療中の方は、症状の悪化や薬の効果への悪影響もあることから、飲酒はしないようにしましょう。適切な治療が最優先です。

6. アルコール依存症とは？

飲酒のコントロールが困難になる病気です。多量な飲酒がもとで次第に飲酒の制御が困難となり、身体的、精神的、社会的問題に悪影響が出て飲み続けてしまいます。アルコール依存症の症状は、自分自身も周囲の人も初期は気づきにくく、重症化して問題が大きくなる傾向があります。専門医療機関への治療等により回復ができる病気です。

心の健康やお酒（飲酒）のことでお悩みの方はご相談ください（ご家族もご利用いただけます）

公的な相談窓口につながるダイヤルを紹介いたします。ご希望に応じて気軽にご利用ください。



相談先	電話番号	相談時間
北海道立精神保健福祉センター	011-864-7121	月～金曜日 9時00分～17時00分（祝日を除く）
こころの電話相談専用ダイヤル	0570-064-556	月～金曜日 9時00分～21時00分 土・日・祝日 10時00分～16時00分
八雲保健所健康推進課健康支援係	0137-63-2168	月～金曜日 8時45分～17時30分（祝日を除く）
今金町保健福祉課健康づくりグループ	0137-82-2780	月～金曜日 8時30分～17時15分（祝日を除く）

（担当：保健福祉課健康づくりグループ 0137-82-2780）